



南熊本駅前 / 撮影日 昭和40年4月5日  
廃線直後の頃はこんな立派な  
市電ホーム風景が見られた。分岐していたターミナル  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本 / 撮影日 不明  
5号機関車 / 昭和7年より  
廃線まで大活躍したご長寿機関車  
熊本バス株式会社所有



南熊本 / 撮影日 不明  
5号機関車が牽引する  
長い貨物列車  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅 / 撮影日 不明  
チハ 102 / 車体側面には、  
沿線の地名である“たくま”と描かれていた  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和30年代  
朝のラッシュ!  
女性の姿が目立ちます  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅 / 撮影日 昭和 39 年頃  
オレンジ車体に緑帯の DC251。  
廃線後、線路撤去でも大活躍  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅 / 撮影日 昭和39年3月31日  
最後の「お別れ列車」  
南熊本～砥用間 1 往復運行  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和39年頃  
最後まで撤去作業を見届ける客車  
熊本バス株式会社所有





南熊本構内 / 撮影日 昭和 38 年頃  
影から夕方と思われる。  
家路へ急ぐ女子高生  
熊本バス株式会社所有



南熊本構内 / 撮影日 昭和 39 年頃  
朝の上り列車から降り、  
学校や会社へと急ぐ人たち  
熊本バス株式会社所有



南熊本構内跨線橋より / 撮影日 不明  
ホームに降り立つ人々。  
左手には豊肥線下り列車が停車中  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和30年代  
客車が人だけでなく、手荷物・  
映画フィルム・小荷物等の輸送にも活躍  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和30年代  
3番ホーム到着直前。  
右線路は国鉄豊肥線の線路  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内集札口 / 撮影日 昭和30年代  
跨線橋を降りて出口へ。  
大正時代から変わらぬ駅舎  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和30年代  
昭和15年5月に春竹駅から  
南熊本駅に改称された  
熊本バス株式会社所有



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和30年  
右：熊延鉄道ディーゼル車  
左：国鉄豊肥本線蒸気機関車  
熊本バス株式会社所有





豊肥本線南熊本-水前寺間 / 撮影日 昭和35年7月7日  
補修中の水前寺ガード付近を  
国鉄乗り入れ列車が走るシーン  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本 / 撮影日 昭和35年6月29日  
チハ 102 が砥用へ向け発車。  
車両基地(右奥)に貨車が見える  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本 / 撮影日 昭和36年6月23日  
「湘南型」と呼ばれる前面2枚窓が  
印象的だったチハ202  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本駅 / 撮影日 昭和39年3月31日  
お別れ列車の発車の合図が送られる。  
左は国鉄の貨物列車  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本駅 / 撮影日 昭和39年3月31日  
DC251 を先頭に  
最後の旅立ちの時を待つお別れ列車  
撮影者 / 中村 弘之氏



南熊本駅構内 / 撮影日 昭和 38 年 11 月  
島原鉄道から購入、  
改造されたチハ 103  
撮影者 / 堀田 善巳氏